

【ご参考資料】

2015年8月12日



ムーディーズによるブラジルの格下げについて

ポイント1 投資適格級で最低の「Baa3」に格下げ

8月11日、格付会社ムーディーズは、ブラジルの長期債務格付を「Baa2」から、投資適格級としては最低の「Baa3」に引き下げました。格付見通しは「安定的」としました。

ムーディーズは声明で、予想を下回る経済状況や、それに関連する政府支出の拡大傾向、財政再建に関する政治のコンセンサスの欠如により、今年と来年の債務増加傾向に歯止めをかけるのに十分なプライマリーバランス（基礎的財政収支）黒字を生み出すことが困難になると指摘しています。

ポイント2 格付見通しは「安定的」に

格付見通しが「安定的」とされたことから、当面は投資適格級の格付が維持される公算が高いと考えられます。

ムーディーズは、現時点では投資適格級の格付が脅威にさらされるほど、債務を巡る状況が著しく悪化するとは予想していません。

ポイント3 市場は織り込み済み

8月11日のニューヨーク外国為替市場では、ブラジルレアルは中国元切り下げの影響を受けて他の新興国通貨とあわせて軟調に推移していましたが、格付見通しを好感して、1%程度値を戻しました。前日比では対米ドルで1.1%、対円で0.7%のブラジルレアル安となりました。債券市場では、10年国債利回り（現地通貨建て）は前日比で0.07%程度低下（価格は上昇）しました。市場では、今回の格下げ自体はある程度織り込まれていたものと思われます。

今後は、こうした格付の評価を受けて、着実に財政再建が進むか、注視していく必要があると考えられます。

重要イベント 2015年8月28日 GDP（国内総生産、4-6月期）
2015年8月28日 プライマリーバランス（7月）

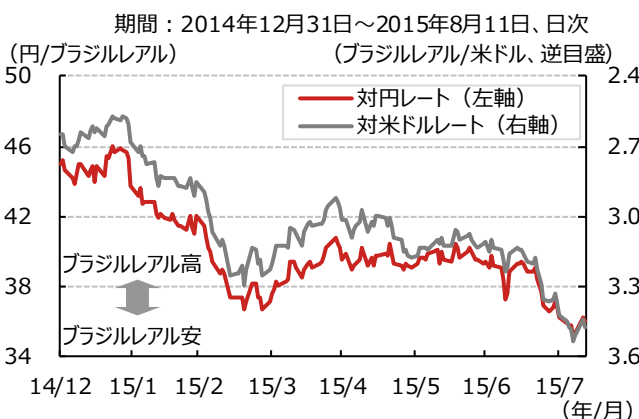
重要イベントは現地時間で記載しています。

【図1】ブラジルの長期債務格付

（2015年8月11日時点）

格付会社	8月11日発表	8月11日発表以前
ムーディーズ	Baa3 (見通しは「安定的」)	Baa2
(参考) S&P 外貨建て長期債務格付		(参考) フィッチ 外貨建て長期債務格付
BBB- (見通しは「ネガティブ」)		BBB (見通しは「ネガティブ」)

【図2】為替レートの推移



【図3】10年国債利回り（現地通貨建て）の推移

